

5) 成人作業サークル「七宝焼について」 第2報

国立療養所川棚病院

永田 智由子 中野 俊彦
琴岡 静香 井上 幸平
谷村 富子

第1報では、作業サークル「七宝焼」を行なう目的や運営資金について、また販売方法として、51年6月に院内で展示即売会を開き、まずまずの成果をあげましたが、院内だけでは購入者などに限界があり、社会との交流を深めるためにも、院外へ出す計画をしていることなどを報告していました。

第2報では、地域社会との交流を深めるという目的を押し進めるために、「院内から院外へ」脱皮する最初の試みとして、地元の町の文化祭に「七宝焼グループ」が参加したことなどについての報告です。

作業サークル「七宝焼」の主な目的として

- (1) 地域社会との交流を深める。—院内から院外へ—
- (2) 創造する喜びを知る。
- (3) 経済活動を通じて働く喜びを知る。

以上の3点があげられます。

次にそれぞれの目的を一つづつ前進させるために実行したことなどを報告します。

- (1) 地域社会との交流を深める。—院内から院外へ—

町の文化祭が秋に行なわれることが耳にはいり サークル員から「参加しよう」との声が上がって、関係者に問いあわせた結果、心よく受けいれられました。そこで七宝焼グループが参加することに決まり、準備期間として約2ヶ月間とりました。11月3日の町の文化祭には「七宝焼サークル」は、展示即売会の部に参加しました。

この文化祭に参加するにあたっては、地元の婦人会・ボランティアグループの大きな協力があり、会場での七宝焼製品の展示 並びに販売を依頼しました。また病院から文化祭会場へ患者さんが移動する時、私達職員と一緒にマンツーマンで車椅子を押してもらいました。展示会場には、高校生や、婦人の人が多く、好評を得て熱心に製作方法などを尋ねる人もいて、サークル員が一生懸命説明をしている光景がみられました。

文化祭後も、ボランティアグループの訪門、外での展示会への誘いなど交流は続いています。この〔院内から院外へ〕の初めての経験は、地元の協力なしで実現できなかっただろうし、また患者さん自身にとって地元で自分たちが参加できるものがある。すなわち、地域の一住民として参加できたことは、地域社会との交流ということで一歩前進したといえます。

- (2) 創造する喜びを知る。

七宝焼は、形は同じでも、配色や焼き加減でそれぞれに個性的な模様ができます。それぞれに工夫してすばらしい作品を作ろうと努力しています。

(3) 経済活動を通じて働く喜びを知る。

(1) で述べた文化祭には、「七宝焼サークル」は、展示即売会の部に参加し、ブローチやペンダント・ネクタイピンなど、合計108点を出品して、59点が売れました。なお売り上げ金額は、77,930円で、その内サークル員に売り、値の4割を製作費として還えしました。残りの37,760円と職員が製作した分15,000円は、次の材料購入などの回転資金として使うことになりました。

(4) 今後の方向と問題点

今後このサークルを通して、地域社会との交流をより以上高めるとともに、技術のレベルアップを図りたいと思います。

そのためには、まだ問題として残っている技術講師の確保と、作業場の独立を是非実現化していきたいと考えております。

6) 療育行事について

国立療養所鈴鹿病院

橋本 恵美子 岡本 和子
曾我 清美 岩井 陽子

< 療育行事の目的として >

1. 単調になりがちな病棟生活に変化をもたせる。
2. 社会的経験を豊かにする。
3. 家庭的雰囲気を楽しむ。
4. 1つの目的に向かって友達と協力し合うが、言われている。

当院で、毎年実施してきた療育行事は、20件である。立案者別に整理してみると、表1のごとくである。

近年、患者の年齢、障害度が高くなってきたことから患者自身の興味、身体的条件等に変化がみられ、いままでのような療育行事の実施・運営が困難になってきた。

そこで、立案方式の固定していない患者自身の企画を検討してみると、次のような特徴があげられた。

1. 介助人員が少ないこと。(2～6名)
2. 継続実施の時間が短いこと。
3. 自由に時間の配分ができること。
4. いずれも試合形式をとること。

これらのことは、彼らが行事を実施するにあたっての条件・制約事項等を十分考慮して立案していることを示している、と考えられた。

そこで、行事の主調を、彼ら自身の企画・立案によるものにおいた。そのような企画として、オ

 **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

第1報では、作業サークル「七宝焼」を行なう目的や運営資金について、また販売方法として、51年6月に院内で展示即売会を開き、まずまずの成果をあげましたが、院内だけでは購入者などに限界があり、社会との交流を深めるためにも、院外へ出す計画をしていることなどを報告していました。